



学校のうつりかわり

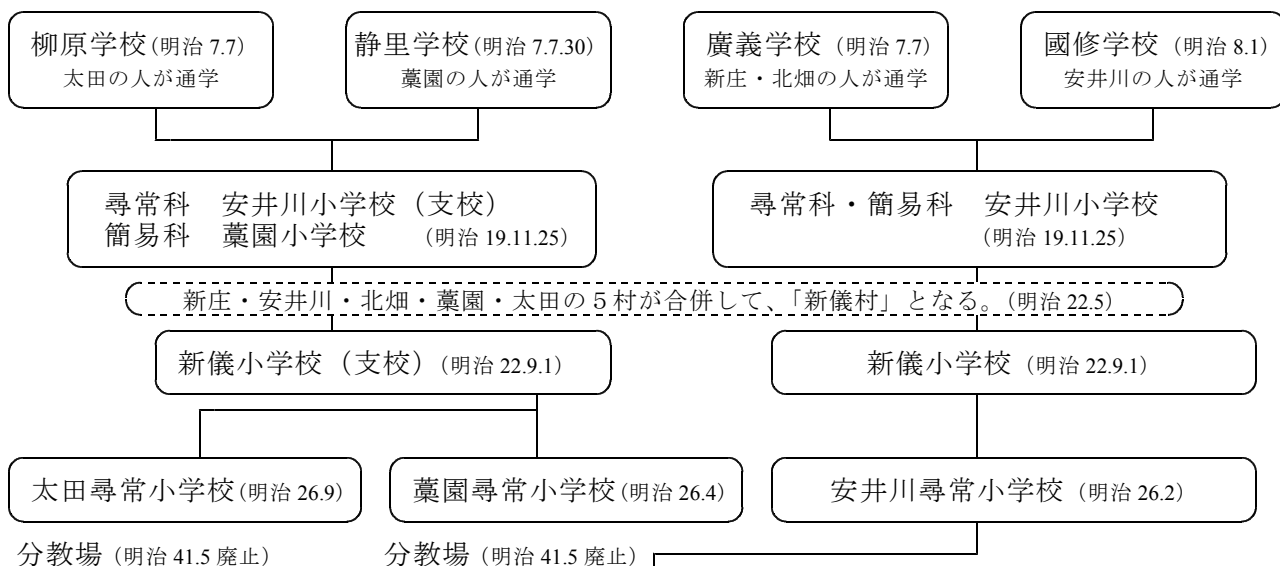
○明治5年の学制発布以前

各地に「寺子屋」というものがあって地区の子どもたちを集め、読書と習字の2科目を教えていた。数学はそろばんで寺子屋卒業後20歳前後になると、冬から春にかけて家業（農作業）が少なくなる時期に、適当な先生をさがして、あるいは夜に親から習っていた家庭が多かった。

読書の本は、実語教、童子教、今川状庭訓往来で、女子は女大学、百人一首などを加えていた。授業時間は特に決まらず、朝の5つ時（午前8時）に集まり、夕方7つ時（午後4時）に帰った。習う年数も決まっていなくて、2、3年の人や5、6年の人もあった。学費（授業料）も特に決まった定めがなく、五節句に白米二升に野菜類、銭3、5百文の祝儀を、また正月には三朱もしくは二朱までのお金に素麺等をそえて先生に届けていた。ただ、先生が病気になるようなことがあれば生徒は看病に力を尽くしていた。

※開塾された数 安井川4、新庄3、藁園3、太田5 （本校沿革史より一部抜粋）

○明治5年「学制」発布



分教場（明治41.5 廃止）

分教場（明治41.5 廃止）

安井川尋常高等小学校（明治38.3.7）
※太田・藁園の尋常科の人は分教場に通う。

新儀尋常高等小学校

【明治39（1906年）.12.16＝創立記念日】

※明治40.6.1に高等科と尋常科3・4年生は新築校舎に入る。

※明治41.5.19に尋常科1・2年生も新築校舎に入り、分教場は廃止される。

新儀国民学校（昭和16.4.1）

新儀小学校（昭和22.4.1）※新儀中学校が分離

町村合併

新旭町立新旭南小学校（昭和30.1.1）

町村合併

高島市立新旭南小学校（平成17.1.1）



平成28年（2016年）12月16日

本校創立110周年記念日